

## 3、職業

1、学生 2、会社員 3、その他

学生…131名、会社員… 11名、その他… 10名

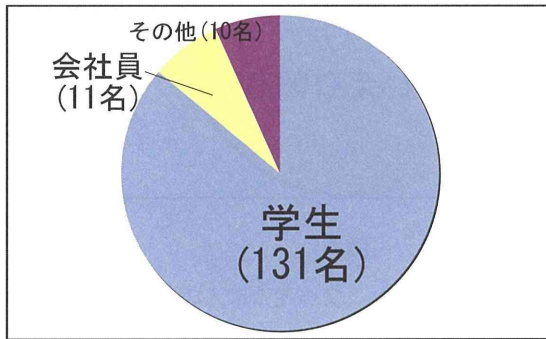


図3

## 4、お住まいの地域

東京…67名、神奈川… 33名、埼玉… 15名

千葉… 10名、大阪… 4名、栃木… 1名

茨城… 1名、無回答… 21名

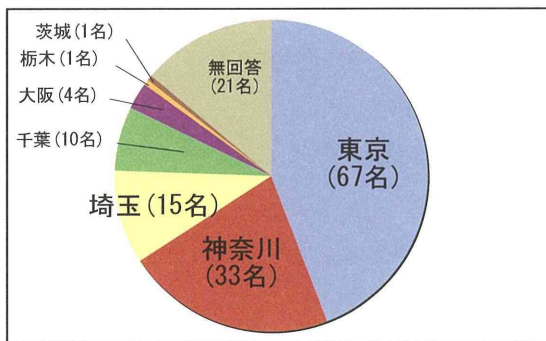


図4

## 5、あなたは恋愛に悩みがありますか？

はい…50名、いいえ… 101名、無回答… 1名

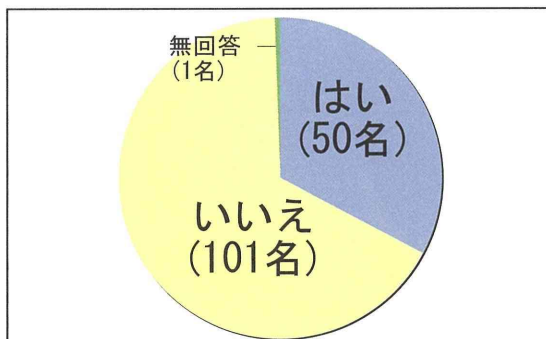


図5

## 6、はい とお答えになったかたは記入ください。

それはどのような悩みですか？

- ・ 彼氏ができない
- ・ 4年つきあっているのに恋人に対する性欲がなくなってしまう困っています
- ・ 自分から話しかけないので彼女ができない
- ・ 恋愛の状況に左右されやすく不安定になりやすい
- ・ 恋人として好きなのか、友達として好きなのか分からない
- ・ 相手の気持ちを察しきれない
- ・ ふたりの子供がほしいけど学生で結婚、出産で大丈夫なの？
- ・ 元彼をひきずっている
- ・ もう少し自分の意見を言いたい
- ・ どきどきするって何？
- ・ 彼女がほしい
- ・ パートナーができない
- ・ いつ結婚すればよいのか分からない
- ・ まじめになりすぎずやれる時にやっといたほうがよいのでしょうか
- ・ 休日にどこかに行きたいと思えるほどの相手がいない
- ・ 異性として意識されません
- ・ 彼女と別れるかどうか迷っている
- ・ 彼女とやる気になれない
- ・ 彼女以外の女の子と遊ぶことについて悩んでいる
- ・ 別れたい
- ・ 恋人が重い
- ・ なかなか会えない
- ・ 友達のままでよいのか分からない
- ・ 彼女ができない
- ・ 関係が続かない

## 7、あなたは他人（友達含む）との接し方に悩みがありますか？

はい…33名、いいえ… 112名、無回答… 7名

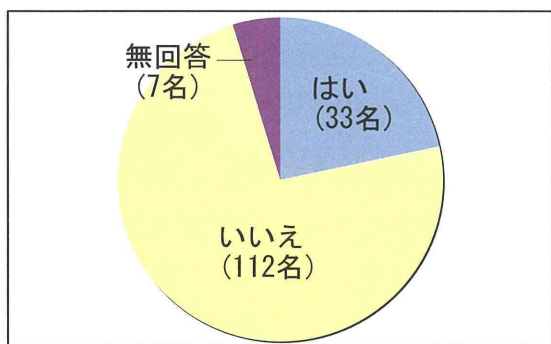


図 6

8、1、はい とお答えになったかたは記入ください。

それはどのような悩みですか？

- ・ 他人が自分のことをどう思っているか不安
- ・ きづかい
- ・ どこまでの間隔をとっていいのか分からない
- ・ なかなか自分の本心を話せない
- ・ 話すのが苦手
- ・ 人見知りをする
- ・ 毎回彼氏のことをどうしても信用できない
- ・ 気の利いたことがうまくいえない
- ・ 距離のとりかたなどが難しい
- ・ 距離感に悩む
- ・ 嫌われないようにするだけでよいのか分からない
- ・ 人の悪口をきくのが好きではない
- ・ 共通の話題がなくてたまにひとりぼっち
- ・ セックス
- ・ うまく接することができないと面倒になる
- ・ 積極的コミュニケーションの障害
- ・ 他人の気持ちを考えすぎる
- ・ 距離感
- ・ 彼女が浮気をしているかもしれない

9、パートナーとの性に関して悩みはありますか？

はい…28名、いいえ… 108名、無回答… 16名

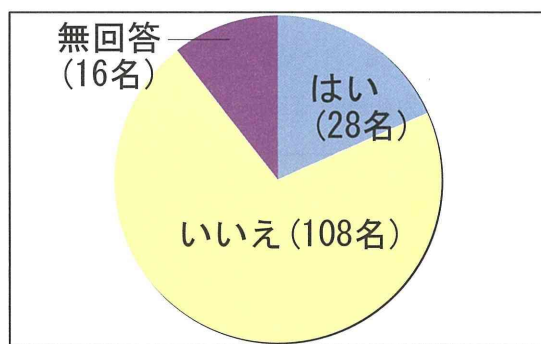


図 7

10、1、はい とお答えになったかたは記入ください。

それはどのような悩みですか？

- ・ 性欲がありません
- ・ セックスが必要なのかどうか分からない
- ・ 自身が性感染症に感染していないか心配だ
- ・ 自己中心的すぎる
- ・ 男性機能が減っている
- ・ パートナーが性について何も知らない
- ・ 彼女とやる気になれない
- ・ セックスが怖くて先に進めない
- ・ 彼女がやる気ない
- ・ 早漏に悩んでいる
- ・ セックスストレス
- ・ なかなかいかない
- ・ すぐイってしまう

11、セックスは楽しいですか？

楽しい…82名、楽しくない… 6名

いずれでもない… 46名、無回答… 18名

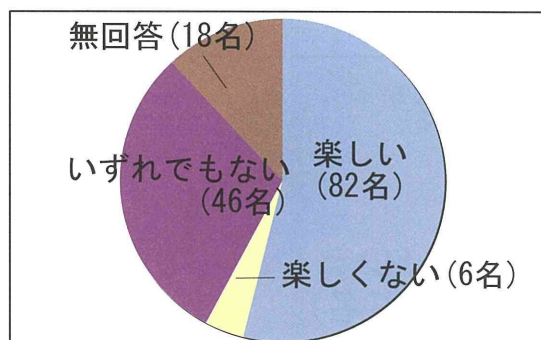


図 8

12、セックスで心配なのは何ですか？

妊娠…87名、性感染症（性病）… 64名

その他… 5名、無回答… 20名

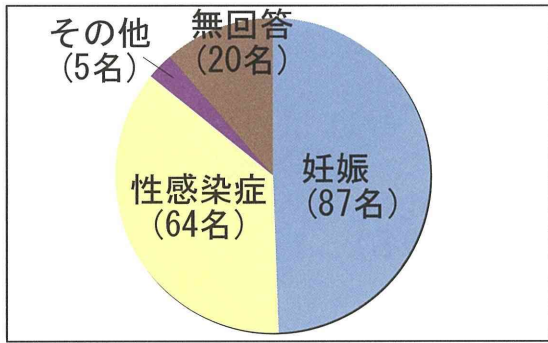


図9

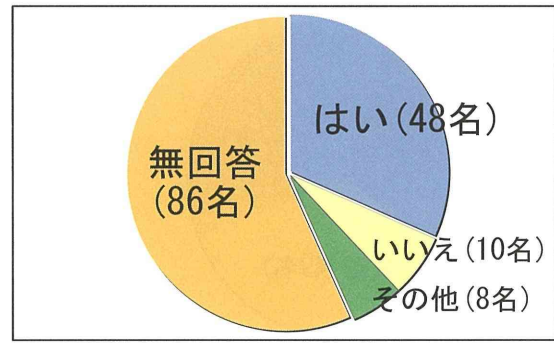


図12

13、セックスをする際コンドームをしますか？  
はい…102名、いいえ… 22名、無回答… 28名

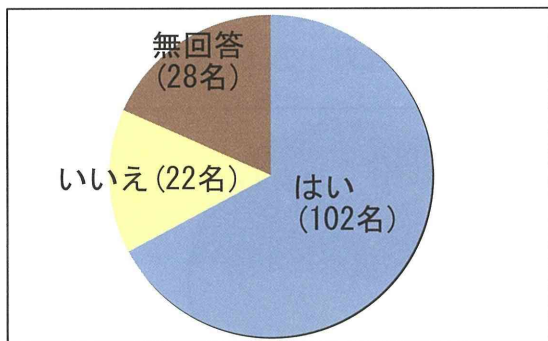


図10

16、女性のかたは教えてください。コンドームはあなたパートナーどちらが購入しますか？  
自分…4名、パートナー… 31名  
その他… 7名、無回答… 110名

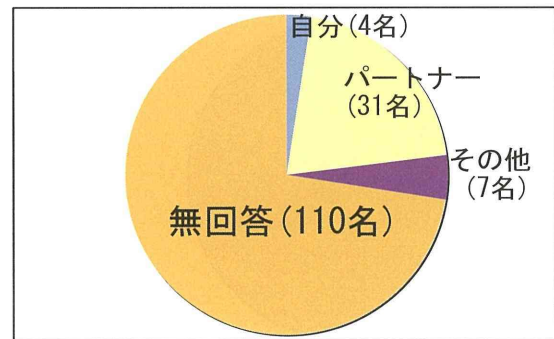


図13

14、コンドームを購入しますか？  
はい…83名、いいえ… 38名  
その他… 3名、無回答… 28名

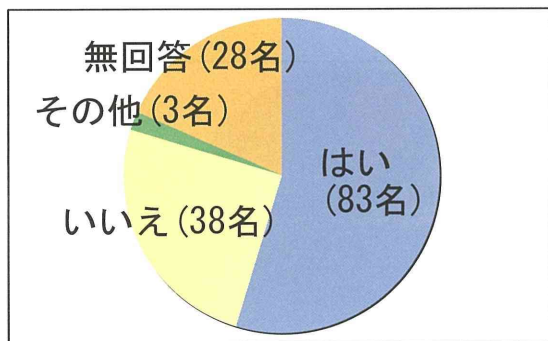


図11

17、性感染の予防方法について知っていますか？  
はい…106名、いいえ… 20名、無回答… 26名

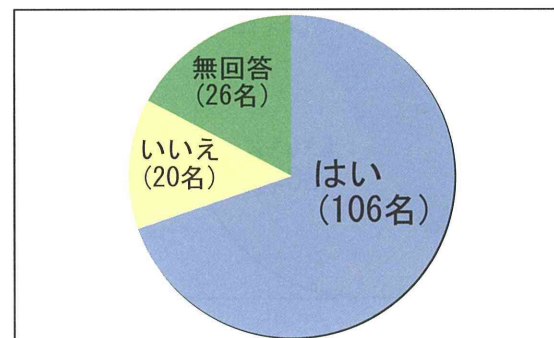


図14

15、女性のかたは教えてください。パートナーはセックスをする際コンドームを使用してくれますか？  
はい…48名、いいえ… 10名  
その他… 8名、無回答… 86名

18、もし、性感染症（性病）になったら、誰に相談しますか？  
恋人…47名、友達… 49名、家族… 18名  
その他… 32名、無回答… 6名



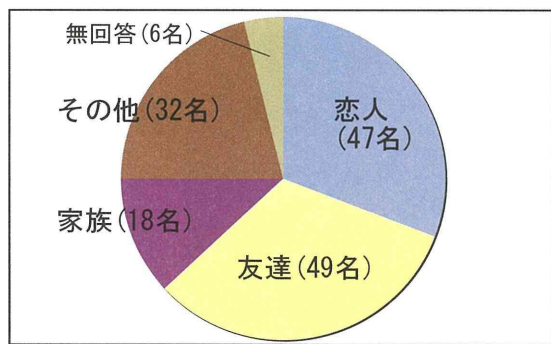


図 15

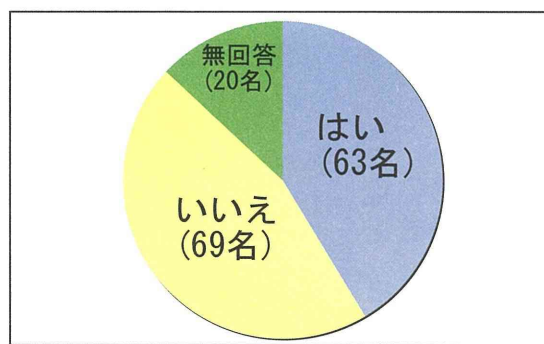


図 18

19、もし、性感染症（性病）になったら、  
病院へ行きますか？  
行く…114名、治るのを待ってみる… 11名  
行かない… 0名、無回答… 27名

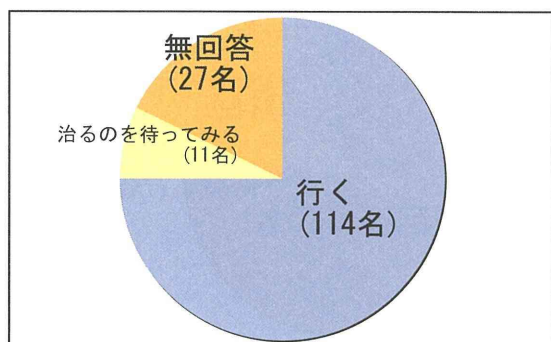


図 16

23、「HIV」に感染するとどうなりますか？  
治療すれば治る…36名、  
治療しても治らない… 72名  
治療をしなければ死ぬ… 21名、無回答… 23名

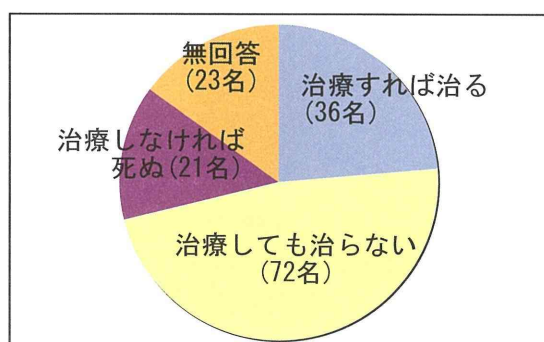


図 19

21、ピル（避妊薬）を服用した事がありますか？

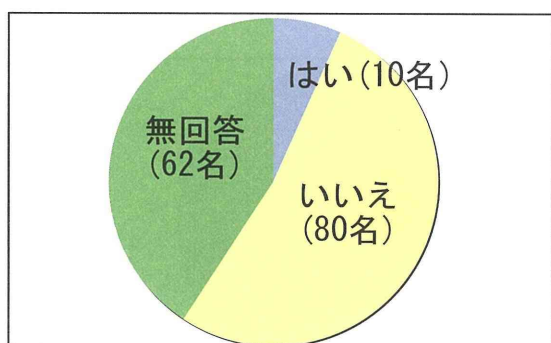


図 17

24、HIV の感染経路で一番多いのは下記の項目のどれであるかお答えください。

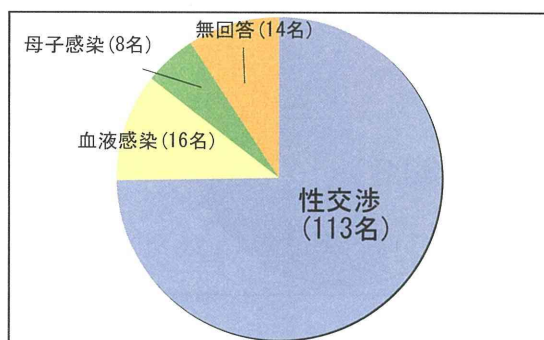


図 20

22、「HIV」と「AIDS」の違いについて知っていますか？  
はい…63名、いいえ… 69名、無回答… 20名

25、HIV 以外にセックスでうつると思う病気に○を記入して下さい（複数回答可）。



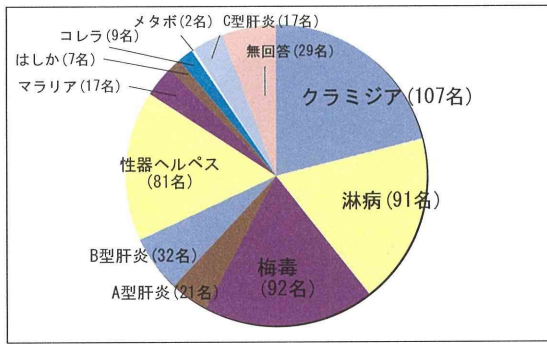


図 21

26、今後、自分が HIV に感染する可能性があると思いますか？

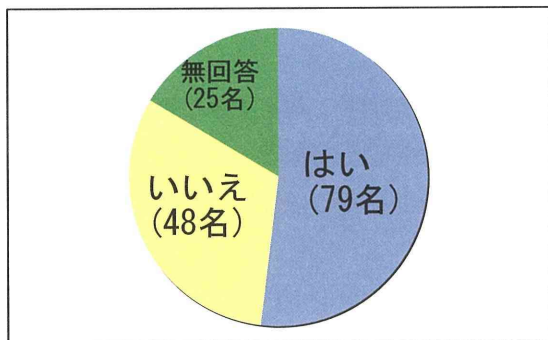


図 22

27、学校では性に関する授業をうけていましたか？  
または受けていますか？  
はい…92名、いいえ… 38名、無回答… 22名

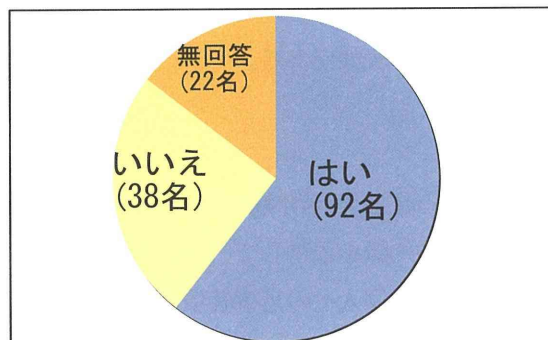


図 23

28、わかりやすいですか？感想をお聞かせください

- ・ 分かりやすさは普通です
- ・ 分かりにくい
- ・ 普通
- ・ 難しいです
- ・ 分かりやすいがいまいち実感がわからない

- ・ ぶっちゃけのところを自分の責任で語ってくれる先生はほぼいない
- ・ 興味深かったです
- ・ 簡潔すぎると思う
- ・ あまり踏み込んだ実用的なことを教えてくれなかったのであまりためにならない
- ・ 中途半端
- ・ つまらない
- ・ 分かりやすい
- ・ オブラートに包んだ教え方だった。先生もわりとてきとう
- ・ よく分からなかった
- ・ 高校で学んだが広く浅くではなくもっと深く教えてもらいたかった
- ・ まったく役に立たなかった
- ・ 実験してほしい
- ・ 分かりにくかった
- ・ 覚えてません
- ・ ぼんやりと
- ・ たぶん分かりやすい
- ・ 最低限のことは分かった
- ・ 覚えていない
- ・ 中学のころだったので簡単なものでした
- ・ 遠まわしな表現でよく分からなかった
- ・ 生殖がメインで STI についてはあまり

次に、HIV 検査についてお聞きします

29、HIV 検査は、無料、匿名で受けることが出来る  
と知っていますか？

はい…79名、いいえ… 55名、無回答… 18名

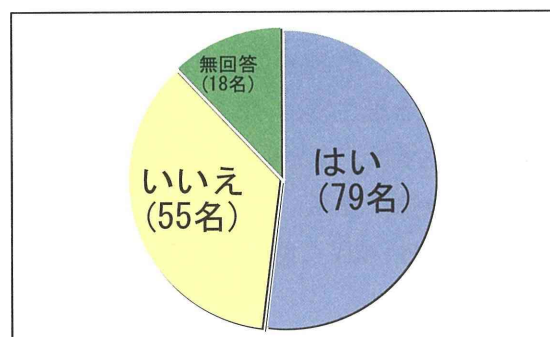


図 24

30、HIV 検査を受けた事がありますか？

はい…7名、いいえ… 129名、無回答… 16名

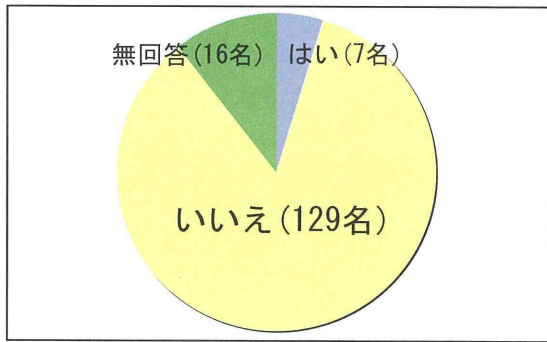


図 25

31、HIV 検査を受けた方に

- HIV に感染したかもしれない機会があったから…6名
- HIV に感染しているか気になったから…4名
- パートナーあるいは友達に勧められたから…3名
- HIV の啓発の宣伝を見たから…5名
- その他…3名

(・HIV 啓発イベントをしたから・定期的を受けている 以上)

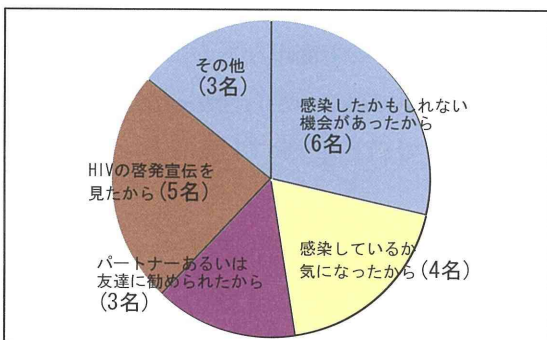


図 26

32、HIV 検査を受けた事のない方に HIV 検査を受けない理由を教えてください (複数回答可)

- 自分は大丈夫だと思うから…72名
- 日本に HIV 陽性者は、ほとんどいないから…2名
- 検査が面倒だから…38名
- もし、結果が陽性(=HIV に感染している)だと、こわいから…24名
- その他…17名 (・性行為をしないから・考えたことがない・行く暇もない・きっかけがない・行方をしていない・時間がない・考えている・知らなかった 以上)

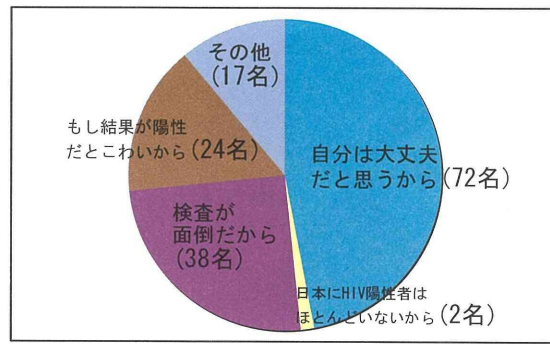


図 27

### 考察

今回、若年層の集約エリアである渋谷ハチ公前でのアンケートを実施したことで、若年層の本音を聞き出す事が出来た。

アンケート調査を通し、見えてきた事として、若年層の生活に恋愛や恋愛対象者への感情は大きな比重を持つものであり、そこに性は切り離せないものである。

性に対しての情報やコンドームの使用においても、世間で伝えられるよりも若年層は情報を持ち、予防行為も実施していると考えられる。

学生時代の性教育に関しては、これからの啓発に参考になる結果がみられた。若年層は学生時代の性教育や教育者の取り組みに大きな疑問を抱いている。

HIV/AIDS に関する一定の情報を持っているが、ほとんどの対象者は検査を受けておらず、やはり当事者としての意識の欠如がある。

### 結論

今回の調査から見ると、若年層は性感染、HIV/AIDS に関しても一定の知識を取得していると思われる。

しかしながら、各個人への当事者項目となると調査結果に迷いがみられるようになる。

前述したように、若年層の性に関しては恋愛が大きく絡む事から、その悩みに相手とのコミュニケーションの取り方が多く見られるように、各自における性への考え方、いわゆる性の自立が求められる。いわば、一定の情報は一般的な知識であり、当事者意識ではないであろうという見解が立つ。

そして、この性の自立に必要なのは、身体が成長するまでの段階での性の正しい知識の普及ではないだろうか。その重要な意味合いを持つのが時期

的にも学生時代の性教育や家庭での教育であるが、若年層はこの性教育に大きな疑問を持っており、性の自立を促すような教育が求められる。

現状、この課題には時間が大きくかかると考えられるため、まずはこの課題を含んだ啓発が必要である。

#### 健康危険情報

該当なし

#### 知的財産権の出願・取得状況

該当なし

#### 研究発表

該当なし





## 携帯を使った服薬支援“だ・メール”および検査予約システムの開発

研究代表者：白阪 琢磨（国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター長）  
研究協力者：幸田 進（有限会社ビッツシステム）

### 研究要旨

「服薬アドヒアランスの向上・維持に関する研究」（以下、「前研究」とする）にて開発した携帯電話の電子メールと WEB 機能を利用した「服薬時間お知らせ」を自動的に通知する通信システム（以下、「だ・メール」または「服薬支援ツール」とする）を継続して特定の患者に対して長期的に運用し、患者の利用状況の推移から、院外の患者に対する服薬支援としての携帯電話を利用した服薬支援ツールが長期的かつ有効的に利用されている事を確認する。

また、平成 21 年度の研究（「携帯を使った服薬支援“だ・メール”および検査予約システムの開発」）にて開発した、携帯電話の個人識別機能と WEB 機能を利用して、個人情報を入力する事なく HIV 検査予約が行える予約システム（以下、「検査予約システム」とする）を特定の HIV 検査機関にて試験運用し、検査予約システムを導入する事で HIV 検査の受検者数の増加が可能であるか、予約システムをどのように使用すれば HIV 検査機関に効率よく受検者を誘導する事が可能であるかを検証する。

### 研究目的

- (1) 服薬支援ツール 前研究より試験運用を継続している服薬支援ツールによって、院外の患者が継続的に服薬できているかを長期的な利用状況データによって検証する。また、それらの結果に基づき必要に応じた機能改善を検討する。
- (2) 検査予約システム HIV 検査機関に検査予約システムを導入し、検査機関における HIV 検査の受検者の動向の変化を調査し、携帯電話による検査予約システムの有効性および利用者の利便性等のメリットあるいはデメリットを継続評価する。また、検査機関からの要望を吸収し機能改善を検討する。

### 研究方法

- (1) 服薬支援ツール 昨年同様、前研究にて開発し改良してきた服薬支援ツールを継続して特定の患者を対象に試験運用し、患者毎の服薬時間お知らせメールの配信回数、および、お知らせメールに対する服薬応答回数データを蓄積して有効性を評価する。
- (2) 検査予約システム 昨年度研究で試験運用を開始した検査予約システムを更に継続して運用し、検査機関における予約検査システム導入前後の予

約状況の推移を比較する事で検査予約システムの有効性を検証する。また、検査機関からの要望を吸収し検査予約システムに反映させる。

なお、本年度研究でも試験運用検査機関として「東京都南新宿検査・相談室」（以降「南新宿検査室」とする）に協力頂いた。

受検者の誘導の流れとして、昨年度研究で想定した東京都社会福祉保険局ホームページからの流れの他に本年度は“HIV 検査・相談マップ”（厚生労働省科学研究費エイズ対策研究事業「HIV 検査相談体制の充実と活用に関する研究」）サイトからの誘導も想定した。“HIV 検査・相談マップ”については検査機関の案内項に南新宿検査室ホームページの URL を記載した QR コードを表示し、南新宿検査室の携帯電話向けホームページへの誘導の利便性を図った。

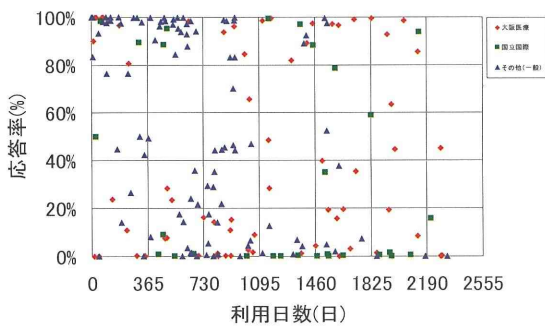
### （倫理面への配慮）

服薬支援ツールおよび検査予約システムの提供にあたっては、収集するデータの取り扱いに注意するとともに、利用者に対して携帯画面の文書で説明し同意を得た上で実施する事とする。

研究結果

(1) 服薬支援ツール 初期からの利用患者は 6 年を経過したが、相変わらず長期的に利用を継続している結果が得られた。また、服薬応答に関して“グラフ 1 利用期間と応答率”に示すように昨年同様長期的に 80%以上の応答率を維持している患者も多く、服薬のための意識的な利用が確認された。服薬したら応答するという生活のリズムが根付いている事が確認された。

グラフ 1 利用期間と応答率



服薬支援ツールの平成 23 年 11 月末日時点での登録者数は“表 1 利用登録者数”の通りであった。登録可能な医療機関を限定しているため少ない伸びであった。

大阪医療センター	75 人 (68, 60, 44)
国立国際医療センター	29 人 (31, 23, 23)
その他	97 人 (90, 62, 23)

※ カッコ内は H22, 21, 20 年の登録者数

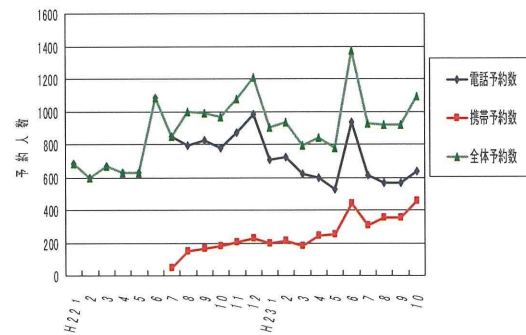
表 1 利用登録者数

(2) 検査予約システム 南新宿検査室では予約システムによる予約受け入れ人数を本年 4 月 1 日より 1 日あたり 21 人枠に拡張して運用し、利用状況データを集計 (4/1~10/31) した結果、予約システムによる予約者数は 2,395 人 (電話予約者数は 4,435 人) で、1 日あたりの平均予約数は 11.2 人 (同 20.7 人) であった。

予約状況の推移としては“グラフ 2 南新宿検査室における予約人数推移”および“表 2 南新宿検査室における検査実施人数増減”に示すように上乗せ効果が認められた (6 月度、12 月度は東

京都が HIV/AIDS 啓発キャンペーンを実施)。

グラフ 2 南新宿検査室における予約人数推移



	受検者数	21 年比
平成 21 年	2,280 人 (2,661 人)	—
平成 22 年	2,464 人 (2,945 人)	8.0% 増 (10.7%増)
平成 23 年	2,291 人 (2,921 人)	0.4% 増 (9.8%増)

※ 8 月 1 日~10 月 31 日データで集計

※ カッコ内は予約者数

表 2 南新宿検査室における検査実施人数増減

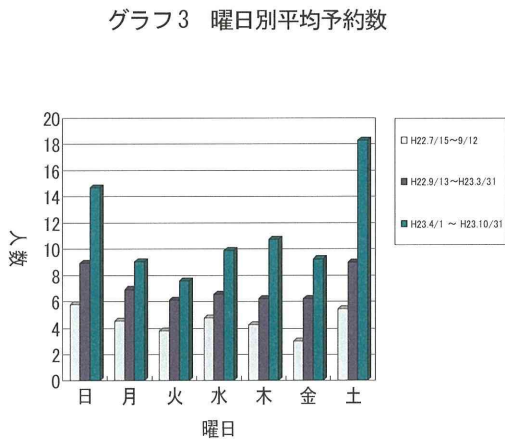
今年度の試験運用では検査予約システムによる予約枠を 1 日あたり 21 人に拡張した (H22. 7/15~9/12: 6 人/Day、H22. 9/13~H23. 3/31: 9 人/Day) 結果、“表 3 南新宿検査室における携帯からの予約状況”に示すように全体予約者数は増加したが予約率は低下する結果となった。ただし、“グラフ 3 曜日別平均予約数”に示すように曜日別の予約状況を見ると平日は予約枠の半数程度に留まり常時予約に余裕のある状態であったが、週末の予約については非常に高い予約率を示した。

年月度	総予約枠	予約数	予約率
H22. 7/15 ~ H22. 9/12	348 人 (6 人/Day)	262 人	75%
H22. 9/13 ~ H23. 3/31	1,671 人 (9 人/Day)	1,326 人	71%
H23. 4 月	609 人	240 人	39%
5 月	588 人	251 人	43%
6 月	630 人	437 人	69%
7 月	630 人	309 人	49%
8 月	651 人	314 人	48%



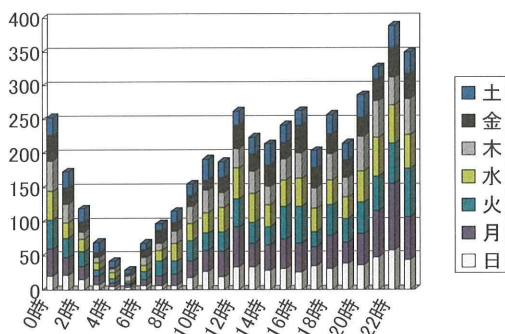
9月	588人	352人	60%
10月	630人	454人	72%
H23.4/1 ～ 10/31 計	4,326人	2,357人	54%

表3 南新宿検査室における携帯からの予約状況



予約を行っている時間帯については昨年同様“グラフ4 携帯予約を行う時間帯”に示すように曜日に関係なく深夜にかけて増加する傾向が観察され、電話予約では対応できない時間帯（南新宿検査室では平日：15:30～19:00、土日：13:00～16:30 が電話受け付け時間帯）での利用が多い事が確認された。

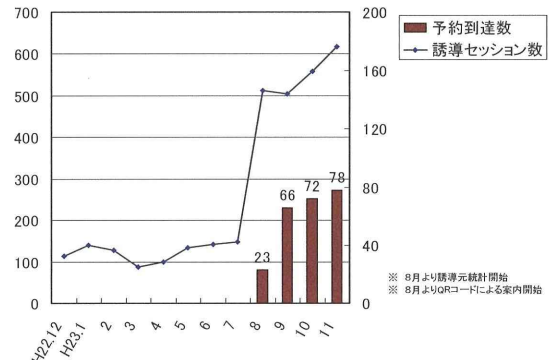
グラフ4 携帯予約を行う時間帯  
(H22年7月1日～H23年10月31日)



本年度は“HIV 検査・相談マップ”サイトからの流れも想定し、“HIV 検査・相談マップ”サイトにQRコードを表示（H23年8月より実施）して利便性の向上を図った結果、“グラフ5

HIV 検査・相談マップからの誘導状況”に示すようにQRコード表示による誘導効果が非常に高い事が確認された。

グラフ5 HIV 検査・相談マップからの誘導状況



その他、今年度の運用システムではイベント等における検査機関の広報の効果をはかるための、広報対象者が優先的に予約できるようにするための優先予約枠機能、特定のWEBサイトからの利用者数の収集機能、不正ログイン監視のためのログイン履歴参照機能、多重予約防止機能等の機能追加・改良を実施した。

考察

(1) 服薬支援ツールについては、昨年同様「その他」医院への登録の傾向が確認されたが、今年度も登録後半年以内での解除の傾向が確認される結果であった。解除理由については、期待しているものと違うサービス、効果がないと判断しての解除等が考えられるが、解除する患者に対しての解除時アンケート（解除理由）の機能を新たに組み込んで解除理由の収集の必要性を感じた。

今年度はスパムメール対策として携帯電話のメールアドレス以外からの登録メールの拒否を行うように機能改修した結果、スパムメールによるシステムへの負荷が大幅に軽減されたが、逆にスマートフォンからPC用のメールアドレスを使った利用登録が出来ない等の新たな問題も見つか、スマートフォンへの本格対応の必要性も出てきた。

(2) HIV 検査予約システムについては、試験導入後着実に予約実績数を伸ばしており、携帯電話から

インターネット接続機能を使った予約サービスの実用性が確認できた。検査予約システムの統計データでは、検査予約システムで予約を行う時間帯が夕方から深夜にかけて増加する傾向にあり電話予約の時間帯とずれが生じているので、この辺も検査予約システムの導入によって電話による予約受付体制の限界をカバーできているものと考えられる。

検査予約システムの大枠での稼働状況としては順調であるが、予約数の増加とともに無断キャンセル（予約だけしておいて検査に来ない）の率も電話予約に比べ高い（電話予約：14.67%、携帯予約：21.68%）など、簡単に予約できる故の問題も発生し改善策を検討しなければならない状況になった。

## 結論

- (1) 服薬支援ツールについては、約6年の実証試験において長期的に服薬応答している患者の存在から“飲み忘れ”防止の支援効果がほぼ実証され、検証モデルから公開モデルへの移行時期に来ているものと思われる。今後の運用方法について検討する時期と思われる。
- (2) HIV 検査予約システムについては、順調に予約数を伸ばしており一定の効果が実証されたが、まだ1検査機関での実証試験のみのため他の検査機関での利用に合致しているかなどまだまだ検証を積み重ねていく必要がある。今後の改良や全国の主要な検査機関への導入によって、リスクの高い層にターゲットを絞った受検者の誘導や、数万人規模の受検者増の可能性を確信している。

## 健康危険情報

該当なし

## 知的財産権の出願・取得状況

該当なし

## 研究発表

該当なし

## 25

## Webサイトを活用した情報発信と情報収集、閲覧動向に関する研究

研究分担者：栗原 健（国立病院機構南京都病院 薬剤科）

研究協力者：湯川 真朗（有限会社キートン 代表取締役）

### 研究要旨

haart-support.jp では、主に患者さんや一般の方を対象とした情報と、医療関係者に向けた情報を公開している。患者さんや一般の方に向けた情報としては「早分かり！症状から探す重大な副作用」「HIV ってどんな病気？」「おくすりガイド」「忘れちゃダメメール」などを公開している。また医療関係者向けには「推奨処方のエビデンスとなる臨床試験」「抗 HIV 治療ガイドライン」「HIV 診療における外来チーム医療マニュアル」などを公開している。平成 23 年度では「抗 HIV 治療ガイドライン」「推奨処方のエビデンスとなる臨床試験」（以上、分担研究者：鯉淵智彦）「おくすりガイド」の薬カード（分担研究者：栗原健）を更新した。

haart-support.jp では、Web サイトへのアクセス解析を行っている。2011 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までのユーザー数の累計は 40,999、ページビュー数は 167,171 となっている。

サイト内には 2 つのタイプのアンケートを設置している。1 つは haart-support.jp 全体に関するアンケートで、もう一つは個別のページから、その内容が役に立ったかどうかを即時送信できるというものである。Web サイト全体に関するアンケートは平成 23 年 1 月 1 日～同年 12 月 31 日までに 16 件の回答があった。また個別ページから送信するページアンケートは 62 件の回答があった。

### 研究目的

治療薬剤の種類が増え、AIDS が慢性疾患となりつつある今、HIV 診療は特定の病院で行う疾患から、一般の病院で治療する疾患となりつつある。このため、患者・感染者はもとより医療関係者も、正しい知識や最新の治療動向を把握する重要性がますます高くなっている。

そこで当サイトでは、患者・感染者や医療従事者に最新の情報をいち早く発信するとともに、その閲覧動向を調査・分析し、HIV 感染症およびその合併症の課題を克服するために、今後の情報発信へと活かしていくものとする。

### 研究方法

#### (1) 最新情報の発信

研究班、研究者の研究成果を公開するとともに、新薬の情報や添付文書の改訂などにいち早く対応する。

#### (2) アクセスログの解析

各ページにはアクセス解析のためのトラッキングコードを埋め込み、訪問者数やページビュー数、ど

のようなキーワード検索されてきたかなどを解析できるようにしている。

#### (3) 個別ページから送信するページアンケート

各ページ下部には、「このページは役に立ちましたか？」との設問に下記の評価をクリック操作で選択、送信できるシステムを設置している。

図1 ページアンケート

これにより、閲覧者はコンテンツを閲覧した直後にその評価を送信できる。どのページから送信したのかも把握できるため、ページ個別に評価を分析できる。



#### (4) Web サイト全体に関するアンケート

サイト全体に関するアンケート投稿ページを設置している。設問内容は以下のとおり。

1. このホームページをどこでお知りになりましたか？

【選択項目】検索エンジン／他のホームページからのリンク／友人・知人に教えてもらった／その他

2. お薬情報コーナーで役に立った内容はどれですか？

【選択項目】薬カード／Q&A／患者向説明文書（翻訳）／添付文書

3. このホームページに追加してほしい情報があれば、ご記入ください。

4. このホームページに関するご意見、ご要望があればご記入ください。

5. 抗 HIV 薬の服薬を支援する方法を検討するため、定期的にアンケート調査を実施したいと考えています。アンケート調査のお知らせをご連絡してもいい場合は、メールアドレスをご記入ください。

6. 年齢

【選択項目】10代／20代／30代／40代／50代／60代以上

7. 性別

【選択項目】男性／女性

8. あなたの立場についてお教えてください。

【選択項目】患者／患者の家族・友人等／医療関係者／その他

### 研究結果

#### (1) 掲載情報の更新

- ・「抗 HIV 治療ガイドライン」（分担研究者：鯉渕智彦）を 2011 年 3 月発行版の PDF を掲載した。PDF 版の特徴としては、左に目次、右に内容という形式で表示でき、目次をクリックすると該当ページが瞬時に表示できる。また Web サイトへのリンクを記述した箇所にはハイパーリンクを設定し、クリックするとブラウザ上で該当ページが表示されるようにしている。
- ・平成 22 年度「HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究」報告書 PDF を掲載した。

- ・添付文書の目次、読み方のアドバイス、重大な副作用の解説、副作用の症状とその類似語、定義の解説を表示するプログラムを全面的に修正し、Internet Explorer でポップアップブロックされないようにした。

- ・「推奨処方エビデンスとなる臨床試験」（分担研究者：鯉渕智彦）に、TDF/FTC 群と ABC/3TC 群の 48 週後の腎機能評価（ASSERT 試験）を追加した。
- ・「おくすりガイド」の薬カードでは、EFV（ストックリン）、MVC（マラビロク）、DRV（プリジスタナイブ）、ETR（インテレンス）、RAL（アイセントレス）を追加した。

#### (2) アクセスログの解析

2011 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日までの集計を以下に示す。

##### ① ユーザー数

ユーザー数とは、当サイトに訪れたユーザーの数で、何ページ閲覧したかはカウントしない。2011 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日までの延べ人数は 40,999 人であった。（表 1）

表 1 1ヶ月ごとのユーザー数

2011 年	ユーザー数
1 月	3,723
2 月	3,400
3 月	2,900
4 月	3,929
5 月	3,920
6 月	4,221
7 月	3,772
8 月	3,705
9 月	3,903
10 月	3,905
11 月	4,158
12 月	3,637

##### ② ページビュー数

ページビュー（PB）数は、訪問者が閲覧したページをすべて集計したものである。

2011 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日までの累計

ページビュー数は 167, 171 であった。(表 2)

表 2 1ヶ月ごとのページビュー数

2011 年	PB 数
1 月	15, 743
2 月	13, 275
3 月	10, 386
4 月	12, 767
5 月	14, 584
6 月	15, 827
7 月	13, 896
8 月	13, 108
9 月	14, 287
10 月	13, 497
11 月	16, 270
12 月	13, 531

### ③ 上位コンテンツ

ページビュー数の多い順に 10 位までを表 3 にまとめた。

表 3 上位コンテンツ

	ページ	PB 数
1	抗 HIV 治療ガイドライン	20, 926
2	CD4 陽性リンパ球細胞の数	7, 499
3	HIV について	6, 214
4	治療法について	5, 726
5	病気から体を守る免疫	5, 514
6	HIV に感染すると…	5, 331
7	免疫の仕組み	3, 951
8	薬剤耐性 HIV とは	3, 543
9	早わかり！症状から探す重大な副作用	3, 207
10	CCR5 阻害薬	3, 102

個別ページの閲覧数は、抗 HIV 治療ガイドラインが最も多い。2 位～8 位および 10 位は、患者さん向けに HIV/AIDS のことをイラストとともに分かりやすく解説した「HIV 感染症ってどんな病気？」である。

### ④ カテゴリー別

カテゴリー別では、「HIV 感染症ってどんな病気？」が最も多い。(表 4)

表 4 カテゴリー別

カテゴリー	PB 数
HIV 感染症ってどんな病気？	76, 303
おくすりガイド	34, 160
抗 HIV 治療ガイドライン	20, 926
外来チーム医療マニュアル	9, 982
症状から探す重大な副作用	4, 079
推奨処方エビデンスとなる臨床試験	3, 255
研究者プロフィール	1, 648
研究の概要	1, 252
忘れちゃダメメール	1, 171

### ⑤ アクセス種別

当サイトに訪れる手段としては、検索エンジン (Google、Yahoo、Bing 等) からが 81% と最も多い。(表 5)

表 5 アクセス種別

検索	81. 21%
他サイトからの参照	11. 60%
その他	7. 19%

### ⑥ キーワード

検索エンジンで検索するキーワードでは、以下の用語で訪れるユーザーが多かった。(表 6)

表 6 キーワード

	キーワード	PB 数
1	hiv 治療	3, 150
2	cd4	2, 264
3	hiv ガイドライン	1, 059
4	haart	826
5	抗 hiv 薬	694
6	抗 hiv 治療ガイドライン	609
7	hiv 治療	572
8	エプジコム	555
9	hiv 感染症	537
10	エイズ治療	507

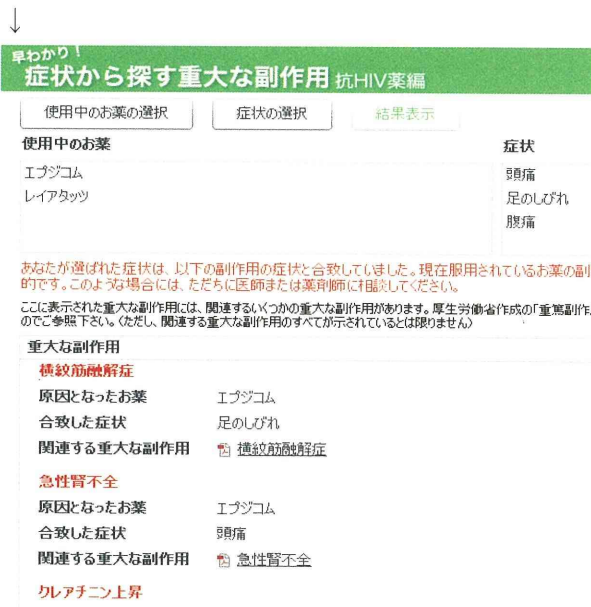
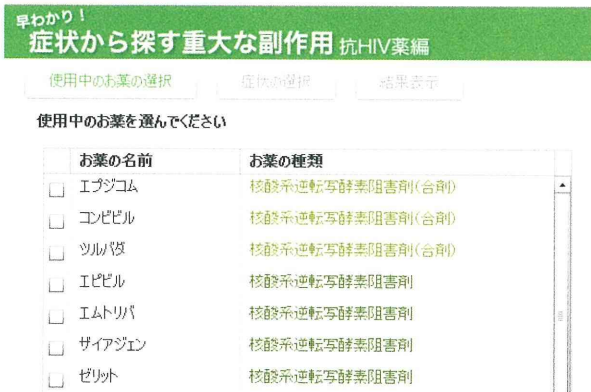
### ⑦ 早わかり！症状から探す重大な副作用 (分担研究者：栗原健)

このシステムは、まず服薬中の薬剤を選択し、次に症状を選ぶことで関連する重大な副作用がな

いかどうかを調べ、あればその一覧を表示するものである。(図 2)

表示される重大な副作用は、厚生労働省が制作した「重篤副作用疾患別対応マニュアル(一般向け)」PDF へのリンクを設定している。

図 2 画面の遷移



問い合わせは、2011年1月1日から同年12月31日までに381件あった。(表7、図3)

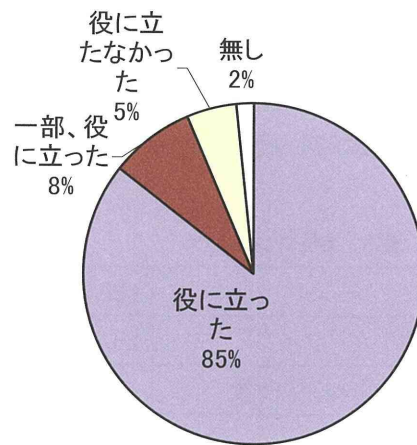
(3) ページアンケートの集計

アンケートの回答は、2011年1月1日から同年12月31日までに62件あった。(表7、図3)

表7 ページアンケートの集計結果

評価	件数	%
役に立った	53	85%
一部、役に立った	5	8%
役に立たなかった	3	5%
無し	1	2%
回答数	62	100%

図3 ページアンケートの集計



このページアンケートでは、2011年1月1日から同年12月31日までに以下の意見が寄せられた。

- 【評価】一部、役に立った
- 【メッセージ】 詳しすぎる
- 【送信ページ】 HIV について

- 【評価】役に立った
- 【メッセージ】イラストがわかりやすかった!!
- 【送信ページ】 HIV について

- 【評価】役に立たなかった
- 【メッセージ】もっと詳しく
- 【送信ページ】 HIV に感染すると…



【評価】役に立った

【メッセージ】医師に勧められています。副作用が心配です。

【送信ページ】EZC Q&A

【評価】役に立った

【メッセージ】とても参考になります。

【送信ページ】カレトラ錠 Q&A

【評価】一部、役に立った

【メッセージ】飲んだことを忘れてしまい、一晩に2度飲んでしまったかもしれないので、ネットで検索してこのページにきました。過剰服用してしまった場合にどうなるのか知りたかったです。

【送信ページ】Q&A すべて

【評価】役に立った

【メッセージ】とても役にたった。このページがあったから・・・学校の宿題が早く終わった…。

【送信ページ】HIV について

【評価】一部、役に立った

【メッセージ】イラストがとても役に立ちました。文も、大事な所は太くなっていて分かりやすかったです。でも、もう少し短くするともっと分かりやすくなると思います。

【送信ページ】HIV の増え方

【評価】役に立った

【メッセージ】とても役に立ちました。でも、間違った知識もいれるともっとよくなると思います。また、その例もいれると・・・。

【送信ページ】HIV について

【評価】役に立った

【メッセージ】図もあってわかりやすいです。

【送信ページ】HIV の増え方

【評価】無し

【メッセージ】事務局様

白阪先生には大変お世話になっております。

「平成22年度HIV感染症及びその合併症の課題を克

服する研究」報告書を1冊送付をお願いできますでしょうか？

NPO スマートらいふネット代表

【送信ページ】平成22年度研究報告書PDFダウンロードページ

【評価】役に立った

【メッセージ】説明が簡潔で分かりやすい。

【送信ページ】インテグラーゼ阻害薬

【評価】役に立った

【メッセージ】地方医療機関でHIV診療に従事しております。なかなか専門家に相談できないなかでこのような資料は助けになります。

【送信ページ】抗HIV治療ガイドライン

【評価】役に立った

【メッセージ】大変役に立つと思います。これから、勉強します。本当に、ありがとうございます。

【送信ページ】抗HIV治療ガイドライン

【評価】役に立った

【メッセージ】医薬品卸の管理薬剤師です。お得意先の診療所の看護師さんが針刺し事故を起こされ、マニュアル等の資料を希望された際、紹介させていただきました。ありがとうございました。

【送信ページ】抗HIV治療ガイドライン

#### (4) Web サイト全体に関連するアンケートの集計

2011年1月1日から同年12月31日までのアンケート送信数は16件であった。以下に年代別、性別、回答者の立場別、ホームページをどこで知ったか？、おくすりガイドの中で役に立った情報別に集計した表を示す。(表8～12)

表8 年代

年代	回答数
10代	2
20代	1
30代	4
40代	3
50代	5

60代以上	1
計	16

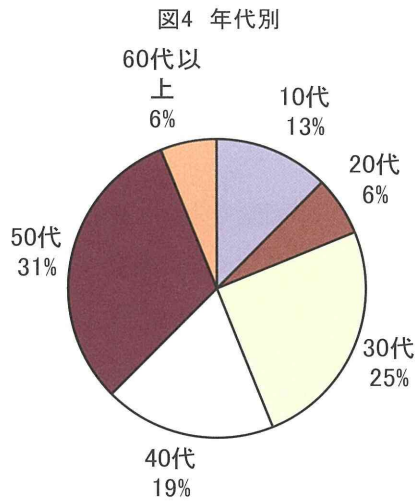


表9 性別

性別	回答数
男性	10
女性	4
計	14

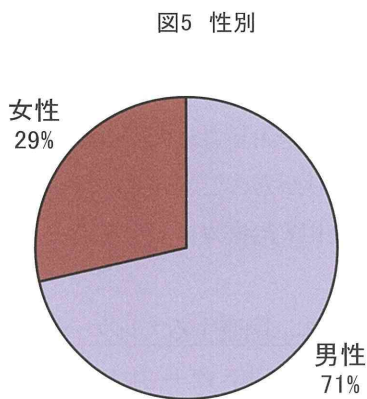


表10 アンケート回答者の立場

立場	回答数
患者	6
患者の家族・友人等	0
医療関係者	6
その他	4
計	16

図6 アンケート回答者の立場

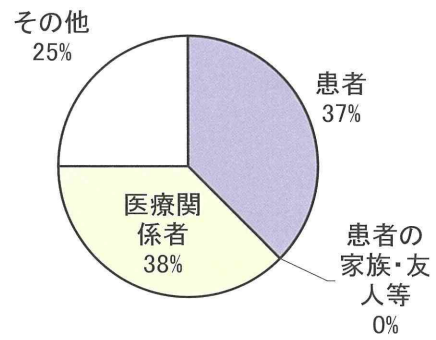


表11 このホームページをどこで知ったか

知ったきっかけ	回答数
検索エンジン	12
他のホームページからのリンク	3
友人・知人に教えてもらった	0
医療関係者に勧められた	1
その他	1
計	17

図7 このホームページをどこで知ったか

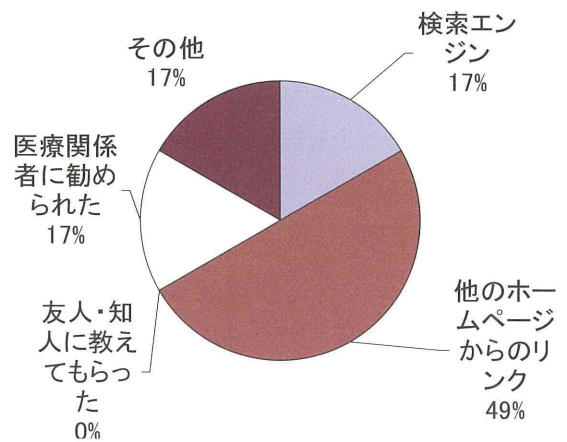
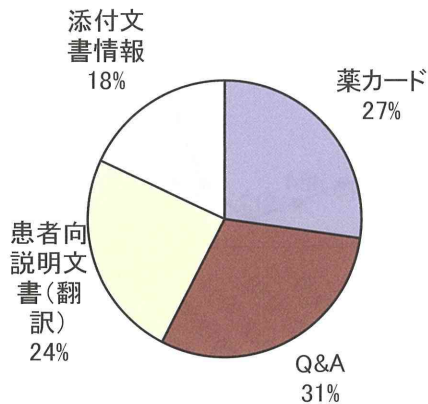


表12 おくすりガイドの中で役に立った情報（複数選択）

役に立った情報	回答数
薬カード	9
Q&A	10
患者向説明文書（翻訳）	8
添付文書情報	6
計	33

図8 おくすりガイドの中で役に立った情報



アンケートでは「欲しい情報」「ご意見、ご要望」として以下のコメントが寄せられた。( )内は受信日。

#### 【欲しい情報】

- ・最新の薬情報(2011/03/25)
- ・病気の増え方(2011/6/24)
- ・間違った知識と正しい知識との…比較と、エイズな関わった人(マザー・テレサ)などの紹介。(2011/8/13)
- ・やはり、いまだに感染すればすぐに死ぬというイメージが一般的である。

自分自身、その意識で HIV/AIDS 治療の進歩も、病気の実態も調べることもしなかった。調べて現状を知り、検査を受けようと決断した経緯もある。いまとなつては、早期に検査を受けておくべきだったと思う。

感染防止を啓蒙する方向性は、過去から活発だが、感染したらどうなるのかを周知しないと検査をうけることを阻害する意識は減らないと思う。

このホームページは、すべての情報が網羅されていて、本当に知りたいと思う人には非常にいいページだと感じる。しかし、見る人のレベル、状態、意識はバラバラであり、その視点も組み込むべきでは？(2011/8/24)

- ・日本人の副作用の症例(2011/10/24)

#### 【ご意見、ご要望】

- ・更新年月日の記載が欲しい。(2011/3/25)
- ・非常に分かりやすい。逆転写酵素とインテグラーゼの役割の違いが理解できました。

要望は CXCR4 と CCR5 の生理的役割、正常時の

役割を教えてください。(2011/4/1)

- ・ありがとう(2011/6/24)
- ・最新情報、特に日本人感染者の副作用の状態を記載してほしい。(2011/6/26)
- ・医療従事者の HIV 暴露に関する質問です。抗 HIV 治療ガイドラインによりますと、暴露由来患者の HIV に関する情報が不明な場合、患者さまの HIV スクリーニング検査を施行することになっていて、迅速検査が可能であれば施行、とあります。迅速検査を行った場合、通常のスクリーニングは不要でしょうか。行う場合には、ウィンドー期を考慮して時期をずらすなどの配慮が必要でしょうか。ご教示ください。国際医療福祉大学病院 呼吸器外科(2011/8/3)
- ・とても分かりやすくなっていた。絵も入っていて役にたった。(2011/8/13)

#### 考察

閲覧数(ページビュー数:以下PB)の多いコンテンツは、抗 HIV 治療ガイドラインが圧倒的に多く(20,926PB)、2位(7,499PB)の3倍近い。ただし2位以下は、患者さん向けに HIV/AIDS のことをイラストとともに分かりやすく解説した「HIV 感染症ってどんな病気？」が占め、カテゴリー別ではこちらのほうが多い(表4)。よってこの2種類の情報が注目度が高いことが伺える。

当サイトに訪れたユーザーの81%が検索エンジンを使っており(表5)、そのキーワードには「治療」「ガイドライン」が多数を占めていることから、抗 HIV 治療ガイドラインのページビュー数の増加につながったと考えられる。

抗 HIV 治療ガイドラインは PDF を掲載しており、この PDF をクリックした数もカウントできるようにしている。プログラムの不具合により、6月初旬までのデータが収集できなくなりましたが、新たに設定したトラッキングコードにより、7月から12月までの PB と PDF クリック数の比較をまとめた。

表13 抗 HIV 治療ガイドラインの PB と、PDF クリック数比較

2011年	PB数	PDF クリック数
7月	1746	758
8月	1636	679

9 月	1780	705
10 月	1846	768
11 月	2065	865
12 月	1612	642
計	10685	4417

PB 数に対する PDF クリック数は平均して約 41%であるが、PDF クリック数と、PB 数で 2 番目に多い CD4 陽性リンパ球細胞の数を比べると、ほぼ拮抗していることがわかる。(表 14)

表 14 CD4 陽性リンパ球細胞の数の PB と、PDF クリック数比較

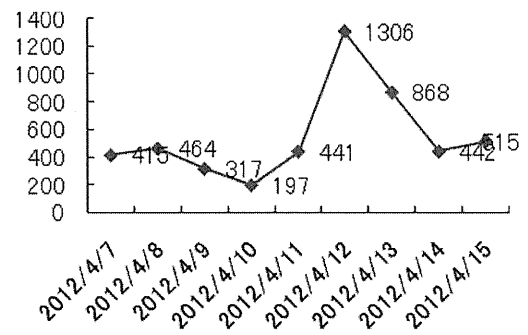
2011 年	CD4 陽性リンパ球細胞の数の PB 数	抗 HIV 治療ガイドライン PDF クリック数
7 月	537	758
8 月	570	679
9 月	835	705
10 月	821	768
11 月	709	865
12 月	610	642
計	4082	4417

抗 HIV 治療ガイドラインは医療関係者を対象とした内容であり、「HIV 感染症ってどんな病気？」は患者さんや一般の方向けの内容になっている。このことから、医療関係者や患者さん、一般の方など幅広い層から当サイトを情報源として活用されていることが伺える。

また個別ページからその内容を評価できるページアンケートでは、85%が「役に立った」と回答し、「一部、役に立った」を含めると 93%が好意的な評価をしており、意見、感想も「とても参考になります」「とても役に立ちました」などと記載されていることから、当サイトの満足度は極めて高いと考える。

今年度は新しい試みとして、医療関係者や患者団体、NGO 等が多く登録しているメーリングリスト (JAIDS) に投稿した。2011 年 4 月 8 日 (金) に、抗 HIV 治療ガイドライン PDF をアップした旨の告知である。投稿したのが金曜日の週末だったため、土日はアクセス数の伸びは見られなかったが、火曜日 (4 月 12 日) になると前週の 3 倍以上のアクセスが見られ、顕著な効果が見られた。(表 15)

表 15



## 結論

当サイトは医療関係者や患者さん、一般の方など幅広い層から利用されており、評価も高いことから、有効かつ重要な情報発信源となっている。よって今後も最新の治療方法や新薬の情報などを継続して発信することが有効と考える。

また当サイトに訪れるユーザーの 81%が検索エンジン (Google、Yahoo、Bing 等) であったが、能動的にメーリングリストに投稿することで、より効果的に情報を提供できることが判明した。

課題としては、アンケートの意見の中に「もっと詳しく」や「過剰服用してしまった場合にどうなるのか知りたかった」「もう少し短くするともっと分かりやすくなると思います」などの意見もあることから、それら患者さんの意見を反映させ、既存のコンテンツを改訂していくことも必要と考える。

## 健康危険情報

該当なし

## 知的財産権の出願・取得状況

該当なし

## 研究発表

該当なし